

令和 2 年度

運営に関する計画



大阪市立晴明丘南小学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

全国学力・学習状況調査や、大阪市小学校学力経年調査の結果を見ると、本校の児童は、どの教科においても大阪市平均を上回っており、身に付けておくべき学力がおおむね定着していると考えられる。また、質問紙調査から見ても、規範意識や自尊感情なども全体的には高い傾向がみられる。しかし、ごく少数ではあるが、基礎学力に課題のある児童もあり、個別の対応が必要になっている。

3年間の生活科・総合的な学習の時間の研究・取組の成果で、自分から進んで課題を見付けたり、友だちと協働して課題解決の方法を考えたりという主体的な学習態度も少しずつ育ってきているが、まだまだ課題があるといえる。また、「友達と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広めたりすることができている」と感じている児童も増えてきているが、8割には到達していない。昨年度も、思考ツールを活用した取組をすすめ、自分なりの意見をもっての話合いをしたり、ルーブリックを活用してめあてを明確化し振り返りを大切にしたりするという取組を進めている。

学習指導要領の改訂を受けて、育成を目指す資質や能力を考えたとき、さらに主体的な学びや、友達や様々な他者との対話的な学び、そして、将来を見据えた探究的な深い学びを充実し、汎用性のある活きた学力の向上と、互いの違いを尊重し協働的に活動できる豊かな人間性の涵養が本校の児童にとって重要であるといえる。また、特に今年度は想定外の事態に遭遇している現状にあって、そのなかで、どのように困難を乗り越えるかという工夫と今でこそその協働を意識した教育活動を展開していきたい。

そのためにも、価値ある体験を通して、主体的に課題を見付ける学習活動を指導者が工夫し、自ら学習に取り組む楽しさや、友だちと協働的に学ぶ楽しさを児童に実感させる授業改善をさらに充実させていきたい。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・平成29年度から令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を毎年100%にする。
- ・令和2年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。
- ・令和2年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・令和2年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

- ・令和2年度の小学校学力経年調査における標準化得点を平成28年度より3ポイント増加させる。
- ・令和3年の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%にする。
- 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。
- 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 令和2年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も3ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント以上増加させる。
- 小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。
- 令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を男女とも90%以上にする。

学校園の年度目標

- ・令和2年度の保護者アンケートにおける「学校は、体験的な活動を通して、子どもたちの主体的な学習をすすめている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を90%以上にする。
- ・令和2年度の校内児童アンケートにおける「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を年度当初より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

様式（2）

大阪市立晴明丘南小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>① 令和2年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。</p> <p>③ 令和2年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>④ 令和2年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>教育課程の中に、価値ある体験を位置づけ、各学年で体験を通して社会性や豊かな心情を育む。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会見学など、地域や校外での体験的な学習を年間2回以上実施する。 校外学習や児童会活動などを活用して、異学年と交流する機会を2学期と3学期で実施する。 ペア学年での活動や縦割り班での活動としての児童集会の在り方を工夫し、令和2年度の児童アンケートにおいて、「児童集会での他学年との交流が楽しかった」と答える児童の割合を85%以上にする。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>違いを認め、尊重し合える集団を育成する。</p>	

指標

- ・互いに尊重し合える集団作りのために道徳の授業を活用し年間 1 回以上公開授業を行う。
- ・いじめ問題を扱った授業を全学級で行うとともに、いじめ対応マニュアルを周知し、学校全体でいじめ対応に取り組む。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を 80%以上にする。
- ・若手教員を中心とした学級経営や教材指導の研修会を年間 10 回以上実施する。

具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

様式(2)

大阪市立晴明丘南小学校 令和2年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった		B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
年度目標	達成状況	
【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】		
全市共通目標(小・中学校)		
①小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。 ②小学校学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も3ポイント減少させる。 ③小学校学力経年調査における正答率が市平均を2割以上、上回る児童の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。 ④小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に答える児童の割合を、前年度より増加させる。 ⑤令和2年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査における「運動やスポーツをすることは好きですか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を90%以上にする。		
学校の年度目標		
<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の保護者アンケートにおける「学校は、体験的な活動を通して、子どもたちの主体的な学習をすすめている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える割合を90%以上にする。 令和2年度のみなみんピック週間における「長座体前屈」の記録において、「前年度の体力調べの記録より1cm以上、上昇した児童の割合を80%以上にする。(長座体前屈測定器を使用する) 		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 基礎基本の学力の定着を図るとともに、個々の学力の向上をめざして、個に応じた課題の与え方を工夫する。	
指標 <ul style="list-style-type: none"> 国語、算数、理科、社会の4教科すべてで学習教材データベースやドリルなどを活用し、能力に応じた個別の課題を与える機会をつくる。 週に1回自主学習を設定し、提出率を80%以上にする。 	
取組内容②【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】	

主体的・対話的で深い学びの視点に沿った授業改革に取り組み、思考力の向上を図る。

指標

- ・子どもの学習意欲を高めるための研究を行い、授業研究会を年6回以上もつ。
- ・論理的に考え、協働的に考えを深めたり拡げたりする手立てとして思考ツールを活用した授業を全員が行う。月に1回「ツールの日」を設定し、公開授業を行う。
- ・授業において、子ども自身が学びを振り返る手立てとして、ループリックの活用をすすめる。月に1回「ツールの日」を設定し、公開授業を行う。
- ・平成31年度の校内児童アンケートにおける「生活科・総合的な学習の時間にすすんで取り組むことができましたか。」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。また、「総合的な学習の時間に友達と話し合い、協力することで課題を解決することは楽しいですか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- ・全学級で月に4コマ以上、タブレットを活用した授業を実践する。

取組内容③【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

校内外の自然や、体験を通しての学習の充実を図る。

指標

- ・外部人材（専門家・企業・地域人材等）を活用した授業を全学年で実施する。
- ・実験や体験を重視した授業を全学年で実施する。

取組内容④【施策1 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】

学校図書館の整備に努め、読書の推進を図る。

指標

- ・学校図書館開放の回数を増やし、利用児童数を昨年より増加させる。
- ・読書ノートを活用し、学年ごとに目標冊数を設定する。目標冊数に到達した児童の割合を70%以上にする。（目標冊数 低学年90冊、中学年60冊、高学年40冊とする）
- ・図書ボランティアを活用し、読み聞かせや環境整備に努める。

取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持増進する力の育成】

すすんで運動を楽しむことのできる子ども、自分の健康や体に关心をもって、自ら健康的な生活をおくろうとする子どもを育てる。

指標

- ・体育集会を年3回以上もつ。（ストレッチ・ミナミンピックの紹介等）
- ・柔軟性を高める手立てを全学年で実施する。（ミナミンピックカードなど）
- ・ミナミンピック週間を年3回実施する。（6月、10月、12月に実施予定）
- ・献立表や給食だよりを活用した食育の推進を全学年で取り組む。

具体的な取組内容や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点